

## カナダの林産品業界 - パートナーシップの力

カナダの林産品業界はパートナーシップの構築と育成において世界のリーダー的存在です。その主眼は経済、社会、そして環境面での互惠関係にあります。

カナダ林産品協会(FPAC)の会員企業は、世界最大の自然保護協定と考えられている歴史的なカナダ寒帯林協定の下で、環境活動家と協力しています。同協定は科学に基づくものであり、林産業の経済機会の強化を図ると同時に、寒帯林の生態系に対する影響を低減することを目的としています。これは林産企業と環境団体が協力し、経済と環境面の価値を融合させていくという、まさにパラダイムの転換の表れです。カナダ林産業はDucks Unlimited、Pollution Probe、世界自然保護基金など、同協定以外の環境団体とも協力しています。

林産業界の変革と革新への努力はさらに、政府、学界、そして技術開発者とのユニークなパートナーシップに結びついています。この数年で、全国的な革新体制が共通のビジョンと連携した取り組みで強化され再活性化されてきました。イノベーションを取り入れていこうという業界の努力は、連邦や州政府、FPInnovations、研究資金助成機関などに支援されています。この協業の姿勢があるからこそ、カナダは実験室から市場へ新製品を送り出すという、木質繊維製品開発競争の最先端を走っているのです。



カナダ連邦政府は2007年から紙パルプグリーン革新プログラムや林産業変革投資(IFIT)といった戦略的なプログラムをはじめ、市場機会創出プログラムへの投資、さらに変革技術プログラム(TTP)による重要な研究への資金として、18億ドルを投じてきました。また州政府も連邦レベルにおける取組みを補完し強化する戦略やロードマップを提供しているとともに、FPInnovationsを支援しています。

カナダ自然科学技術・工学研究会議(NSERC)は、FPInnovationsを20大学の教授100名、学生400名以上から成る「研究と教育による森林革新(FIBRE)」ネットワークを支援し、学究者の創造性を活用しています。

FPACのバイオパスウェイ事業の研究結果として2011年に設立されたバイオパスウェイ・パートナーシップネットワークは、ケミカル、プラスチック、自動車、バイテクといったパートナー業界間の架け橋であり、カナダの林産企業と、バイオエネルギーやバイオケミカル、バイオマテリアルなど、グリーンな革新技術への投資に関心を寄せる異業種企業とのB2Bを築く機会を提供しています。2014年下期時点で300以上の企業や団体が参加しており、現在も拡大を続けています。

バイオエコノミーネットワーク(BEN)は、バイオベースの製品に対して生まれつつある市場を活用する道を探っています。BENは自動車部品、バイテク、ケミカル、農業や林産業など、企業900社を会員とする複数の業界団体により構成されており、雇用労働者数は200万人にも上ります。官民が協働できる分野としては投資環境や法規制環境の整備、技術革新、市場の多様化などがあります。BENはまた協業パートナーシップや付加価値製品の創出にも当たっており、カナダをバイオ産業の投資先として確立する上で貢献しています。

これらのパートナーシップはカナダ林産業界がVision2020の目標を達成するための追い風になるだけでなく、環境面における持続可能なソリューションや木質繊維を原料とする新技術の開発において、世界的な革命を先導できる業界を育むものでもあります。

## FPACと会員企業は カナダ林産業の 指針として VISION2020を策定

2020年までに3つの

目標達成を目指す

- ・ 新製品と市場開拓により  
経済規模を200億ドル拡大
- ・ 環境パフォーマンスを 35%向上
- ・ 6万人を新規雇用し 労働力を刷新



FPAC はカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーション的な新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有する労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66% の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。